

# 小規模特別養護老人ホーム 昂

## 平成 26 年度事業報告書

### 1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

職名 区分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	2		1	1	15	1	1		24
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			6			1	7
現員計 ②+③=④	1	1	1	2	(1)	1	1	21	1	1	1	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

### 2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入所者数	1人 (1人)	6人 (1人)	7人 (2人)
退所者数 (亡くなった方を含む)	3人 (0人)	6人 (0人)	9人 (0人)
年度末現在の入所者在籍数	8人 (0人)	19人 (0人)	27人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。

### 3 利用者処遇の充実の状況

#### (1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	1 2	0	第1水曜	㊟・無	施設長・副施設長（CM）各ユニットリーダー・看護師・栄養士・相談員
ケース会議	1 2 3	2 7	随時		居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員（CM）
入所判定会議	1 2	6	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	1 2	0	第3水曜		全職員

#### (2) 機能訓練実施状況

(当該年度 年間実績)

##### 個別機能訓練

歩行訓練等（平行棒）：週1回実施 2名 週2回実施 1名

歩行訓練（ユニット内）：毎日6名

関節可動域訓練：週1～2回実施 4名 週3回 1名

下肢マッサージ等：週5回～毎日実施 3名

嚥下機能訓練（嚥下マッサージ）：毎日実施1名

##### 生活上機能訓練

作業レク（折り紙・塗り絵・書字等）：月3回～随時

トイレ内動作訓練（立位保持等）：毎日8名

洗濯物たたみ・箱折等：毎日実施8名

その他 歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し：毎日16名

#### (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度 年間実績)

施設としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。

→苦情受付の担当者を定め、虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に5か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。

施設としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。

→平成26年度、法人全体として虐待防止の研修を開催し虐待に対する意識を高めた。

また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に2回開催し、施設内の対応が虐待にあたるか検討している。虐待防止委員会から話しが挙がった内容に対し、職員全体会議にて注意喚起を行っている。利用者間の人間関係に留意している。

実際に虐待があったとされる施設の具体例を挙げて、職員間で回覧→話し合い→全体会議で確認し合った。

苦情等の相談（虐待を含む）責任者を設置し、窓口等の案内を施設内に掲示している。

(4) 嘱託医師の回診の状況

(当該年度 年間実績)

週1回水曜日昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。往診時間が10:00～12:00に変更となり、当日処方薬がスムーズに内服、使用できるようになる。

また、午後より各受診を入れられるようになる。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

リスクマネジメント：誤薬防止について江川医師より直接ユニット職員全員にダブルチェックの必要性、職員の体調不良時や、注意力低下時についてのフォローの話をし、朝礼で啓発する。

(5) 食事の状況

(当該年度 年間実績)

食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

食費

朝食、昼食、夕食 = 1,430円（減額有） おやつ = 67円

食事形態（在籍者数 平成27年3月31日現在 27人）

常食	軟菜食	刻み食	ミキサー	ゼリー食	経管栄養
10人	6人	4人	2人	3人	2人

代替食

各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）  
栄養年報（平成27年3月31日現在）（※ゼリー食、経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,523Kcal	56 g	31.8g	650mg	9.0 g
給与栄養量	1,527Kcal	60 g	33.2g	610 mg	9.3 g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

区分	入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
	利用（入浴）者数	208人	1,394人	1,296人

1人当たり週回数	週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）
入浴時間帯	10時00分 ～16時00分	10時00分 ～16時00分	10時00分 ～16時00分
介護員数	1人	2人	1人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理 由
有	有	有	全身搔痒感強い上に、頭部の傷痕を手で掻き始めたことにより切り傷から化膿してしまった。再発と治癒の繰り返しの為、ご家族同意のうえ拘束となる。

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度年間実績)

4月	お花見外出
5月	ホットケーキ作り
6月	菖蒲湯
7月	歌のボランティア
8月	山二ツ諏訪神社大祭 昂納涼会（花火鑑賞会）
9月	敬老会 フラダンス
10月	紅葉ドライブ
11月	紅葉ドライブ
12月	クリスマス会 柚子湯
1月	新年会
2月	節分 豆まき
3月	おひなさま

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

(当該年度 年間実績)

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、5月30日と3月17日に実施。3月の避難訓練は実際に水消火器を使用し行った。使用した職員からは、「実際に使ってやると、実践さながらの緊張感があった。」避難誘導に当たった職員同士の連携は昨年行った訓練より連携はうまく取れてきている様に思われる。今後も新しい職員の防災意識を高める事と共に、他職員の防災への意識を今以上に持ってもらい新しい職員の指導を担えるように働きかけをしていきたい。

(10) 運営推進会議の状況

(当該年度 年間実績)

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター

御利用者様代表 御家族様代表 第3者委員（大学教員）

当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）

施設関係者（法人本部）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

4 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
解決方法の 公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ②		有 ・ ②	重要事項及び契約書 に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

相談件数 1 件

日時	相談者	相談内容
H26.9.来所時	T 様妻	祖母の葬儀に参列したいが、帰宅が 21 時過ぎになるが、差支えないか。

苦情件数 0 件

5 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

(当該年度 年間実績)

短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

年間実績

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間で年間延べ 2 名の方が短期入所生活介護を利用される。

問題点

急な空床に伴うご利用者及び居宅支援事業所等への連絡やご案内をするも、期間限定での利用のため居宅支援事業者からの問合せに対し、利用期間が合わないためお断りさせていただく場合もあった。周辺にショートステイ事業所が新設され、急な依頼等対応できるようになっているため、問い合わせ事態も減少している。

対応策

細目に地域周辺の居宅介護支援事業所や、地域包括支援センターなどを訪問し、介護支援専門員に昂のパンフレットなどを紹介し、利用者獲得に努める。

他の近隣の特別養護老人ホームと差別化できる内容を常に職員と考え創意工夫していく。

6 待機者の状況

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数(人)	2	6	12	6	2	28

\*現在、新年度に向けて待機者の状態確認を実施中

## 7 職員の資質の向上等人材育成の状況

### (1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・ 栄養士・各UL
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員
ユニット会議	35	0	各委員会 定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会 定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

### (2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内 研修	高齢者の脱水について	7. 24	全職員	1	講義と演習
	食中毒に関する研修	7. 11	全職員	1	講義
	口腔ケア研修	9. 25	全職員	1	講義
	急変時の連絡体制	10. 1	全職員	1	講義
	感染症勉強会	12. 4、10	介護職員	1	講義
施設外 研修	相談援助職のセンスを 磨く～レジデンシャル ワーク～	1. 7	介護職員	1	講義
	初任者必須研修	5. 13、14、 15	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員 研修	6. 10 6. 11	介護職員	1	講義
	社会福祉施設初任者接 遇コース	6. 23	介護職員	1	講義

施設 外 研 修	社会福祉施設中堅職員基礎研修	6.26 6.27	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	7.12 7.13	介護職員	1	講義
	認知症ケア・対応研修	8.29 9.16	介護職員	1	講義
	メンタルヘルス研修（一般職員）	9.18	介護職員	1	講義
	国際福祉機器展 H. C. R2014	10.1 10.2	介護職員	2	講義
	平成26年度特定給食施設指導会	10.9	栄養士	1	講義
	施設介護支援専門員研修会	10.29	介護支援専門員	1	講義
	平成26年度新潟県介護予防従事者研修	11.18	管理者	1	講義
	平成26年度結核感染症研修会	11.26	管理者	1	講義
	平成26年度エンゼルセミナー（看取り研修会）			1	講義
新潟県看護協会新潟東。西支部合同看護師職能Ⅰ・Ⅱ研修会	12.19	看護師	1	講義	

## 8 建物・設備等の保守点検の状況

(1) 危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所	具体的な状況	今後の対応
特浴の窓	入浴後の換気をしようと窓を開けたら、閉まらなくなりアルミシートで一旦塞いだ。	窓の開閉がしづらくなったら業者に依頼し、バネに油を差してもらうか、バネを交換する。